

CO-2- i -02S	創薬系実習Ⅳ（薬理系）	第2学年	後期 必修	2単位
担当者	輪千、酒井、葛巻、芝崎、河田			
一般目標（GIO）	臨床現場で使用される薬物の薬効・生体内運命、毒性を含めた可能な限りの情報を動物実験から収集し、薬効発現の機序を理解するために、薬理作用・毒性および薬効解析を体系的に検討し、薬理学実験の基礎となる技法および論理を習得する。			
到達目標（SBOs）	動物実験における倫理について配慮することができる。 代表的な細胞および組織を観察できる。 実験動物で代表的な薬物投与方法を実施できる。 代表的な器官または臓器の機能を観察できる。 各疾患等に作用する代表的な薬物の投与と薬効薬理、薬物動態に基づいた判断ができる。			
受講心得・準備学習等	事前に実習書をよく読み、内容を理解したうえで実習にあたること。			
事後学習・復習等	実習後、実験結果をまとめ、他の教科書を参考にして考察を行い、報告書に記入すること。			
オフィスアワー	平日（月～木）18時～19時またはメールでも対応可とします。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		実習形式で行う。		
回	項目	内容	担当者	
1	実習講義	実習予定、実習上の注意等を説明する。 実習を行うために必要な器具・機器、用語、操作法等について説明する。	基礎実習研究センター、他	
2	マウスの解剖	マウスを解剖し、外形の観察および頭部、頸部、胸部、腹部の観察を行う。	基礎実習研究センター、他	
3	血液	血液の成分、種類、働きを理解する	基礎実習研究センター、他	
4	循環器系の薬理	血圧、心拍数に対する自律神経作用薬の効果	基礎実習研究センター、他	
5	平滑筋の薬理	摘出回腸縦走筋に対する自律神経作用薬の効果	基礎実習研究センター、他	
6	筋弛緩・痙攣の薬理	筋弛緩薬・抗痙攣薬の運動神経系・中枢神経系に対する効果	基礎実習研究センター、他	
7	催眠薬・抗不安薬・抗うつ薬の薬理	催眠薬・抗不安薬・抗うつ薬の中枢神経系に対する効果	基礎実習研究センター、他	
8	鎮痛薬の薬理	鎮痛薬の中枢神経系に対する効果	基礎実習研究センター、他	
9	統合失調症・パーキンソン病薬の薬理	統合失調症・パーキンソン病治療薬の中枢神経系に対する効果	基礎実習研究センター、他	
10	追加実験	未知検体を使用した薬理学的効果	基礎実習研究センター、他	
11	データ整理	未知検体同定のためのデータ整理	基礎実習研究センター、他	
12	プレゼンテーション	未知検体に関して得られた薬効・毒性のまとめと発表	基礎実習研究センター、他	

成績評価の方法	実習技能 50%、実習レポート 20%、演習として SGD におけるプレゼンテーションと質疑応答での実験内容および実験・研究活動に必要な知識に関する把握・理解 30%の割合で評価する。
成績評価の基準	技能の習得、レポート、プレゼンテーションと質疑応答について個別に評価し、各項目 60%以上を合格とする。実習中に習得できなかった技能については追実習でフィードバックを行う。
教科書	基礎実習研究センターで編集した実習書を使用する。
参考書など	随時紹介

